

0 - 13

体育指導者(新居浜市体育協会) における喫煙調査

井石内科医院 井石安比古

新居浜市体育協会スポーツ医科学専門委員会

0 - 13

体育指導者(新居浜市体育協会)における喫煙調査

井石内科医院 井石安比古

新居浜市体育協会スポーツ医科学専門委員会

近年健康増進法25条も施行され、日本政府もFCTC (**Framework Convention on Tobacco Control**) 包括的タバコ規正枠組み条約を批准し、喫煙問題は大きな社会問題ともなってきました。そのような社会状況の中で、アマチュアスポーツ活動の場に置いても、喫煙問題は公衆衛生の面からは言うまでもなく、競技力の向上という面からも重要な意味を持っていると考えられます。

そこでこの度、新居浜市におけるアマチュアスポーツをリードする新居浜市体育協会の、監督・役員・コーチを対象に喫煙調査を行いました。

新居浜市体育協会加盟種目団体

- 水泳協会
- ボーリング協会
- ヨット協会
- ゴルフ協会
- スキー協会
- 陸上競技協会
- 馬術協会
- ウェイトリフティング協会
- 剣道連盟
- 卓球協会
- 空手道協会
- 弓道協会
- 柔道協会
- 山岳協会
- バドミントン協会
- テニス協会
- クレー射撃協会
- ソフトテニス連盟
- サッカー協会
- ソフトボール協会
- 野球協会
- バスケットボール協会
- バレーボール協会
- ハンドボール協会
- 家庭婦人バレーボール協会
- ゲートボール連合
- 少林寺拳法協会
- ダンススポーツ協会
- 拳法道協会
- 生命の貯蓄体操普及会
- 中学校体育連盟
- 小学校体育連盟
- スポーツ指導者協議会
- スポーツ少年団

ご覧の新居浜市体育協会所属34団体の体育指導者の皆様にご協力いただきました。

アンケート対象と回収率

- 監督・コーチ・役員 130名
- 回収:100名(回収率:76.9%) 男性:75名、女性:25名
- 平均年齢:50.1歳

以上各団体の監督・役員・コーチ130名に対してアンケートを配布しました。100名から回答を得、回収率は76.9%でした。うち、男性75名女性25名でした。平均年齢は、50.1歳でした。

喫煙に関するアンケート

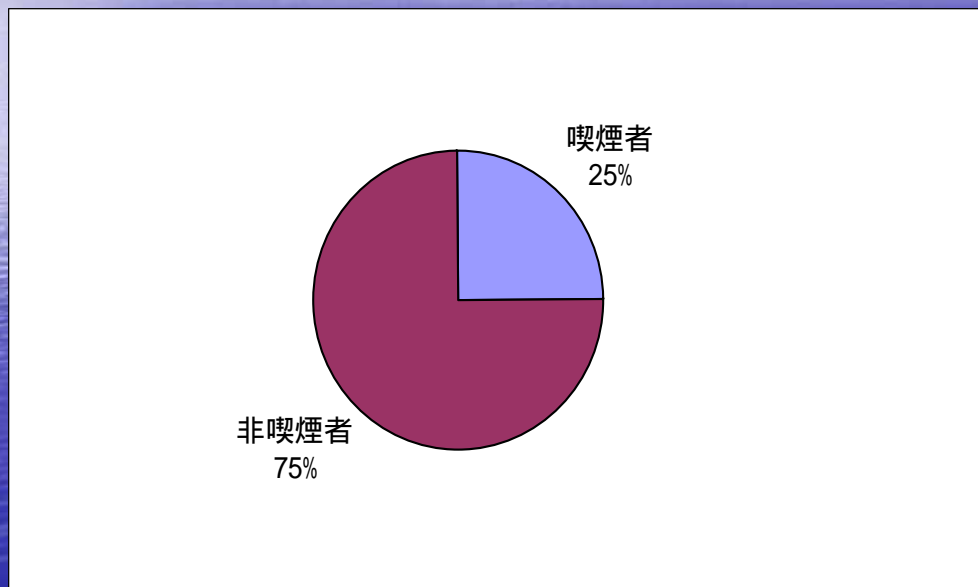
このアンケートは、体育協会内での喫煙状況を把握するために行っているもので、その結果により、個人を特定したり、個人に対しなんらかの働きかけをしたり、ましてや処罰を考えたりするものではありませんのでご正直にお答え下さい。アンケートも無記名ですしご安心してお答え下さい。

- 1) 個人に関する質問
年齢 () 男女別 () 選手・コーチ・監督・役員 () 種目 ()
- 2) 喫煙に関して (a・b・c それぞれに○を付けて記入してください)
 - a) 現在喫煙している はい・いいえ
現在喫煙している方は (/日)、喫煙年数 (年)
銘柄 ()
 - b) 以前喫煙していた
() 年前まで () 年間
 - c) 全く喫煙経験がない未成年の方で喫煙したことのない方は下記設問にお答え下さい
 - a) 両親共に喫煙している
 - b) 両親のどちらかが喫煙している ()
 - c) どちらも喫煙していない
- 3) 喫煙している方にお聞きします
貴方はなぜ喫煙をしていますか (該当する物に○をしてください。適当な選択肢のない方はその他にその理由をご記入下さい)
 - a) 禁煙したいが禁煙できない
 - b) 仕事でイライラするので、又はストレスがあるから
 - c) 仕事がかどる、アイデアが生まれるから
 - d) 集中力が湧く
 - e) 勉強がかどる
 - f) 心が落ち着く
 - g) その他 ()
- 4) 貴方はいま喫煙をやめたいとっていますか? やめたいと思っている方は○をやめる気のない方は×を () に記入してください
()
やめられない方・やめる気のない方ともにご意見を () 内に記入してください
()
以上ご協力ありがとうございました。

スライドは配布したアンケートです。ちょっと細かくて見づらいですが、お許し下さい。

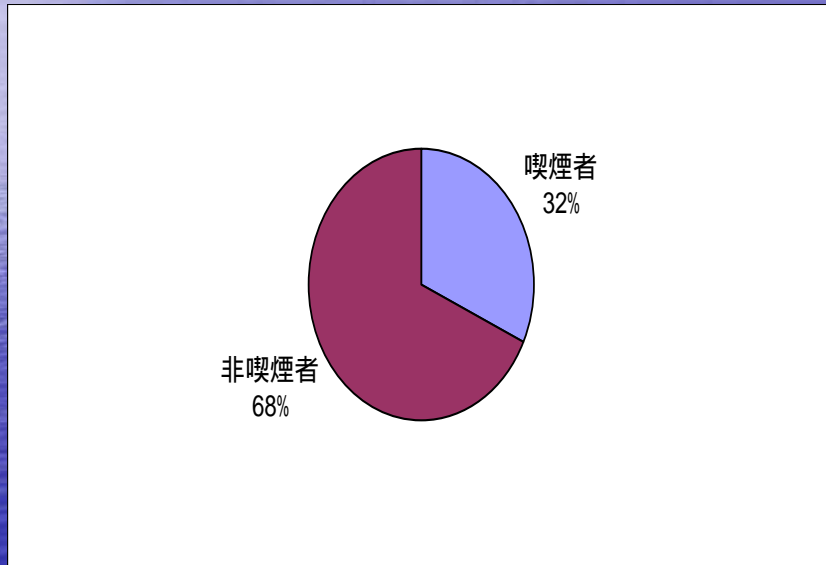
性・年齢などの型どおりの個人データのあと、まずは喫煙の有無、喫煙本数、喫煙年数、等を質問しました。また喫煙者に対しては、喫煙理由も質問してみました。

全体の喫煙率



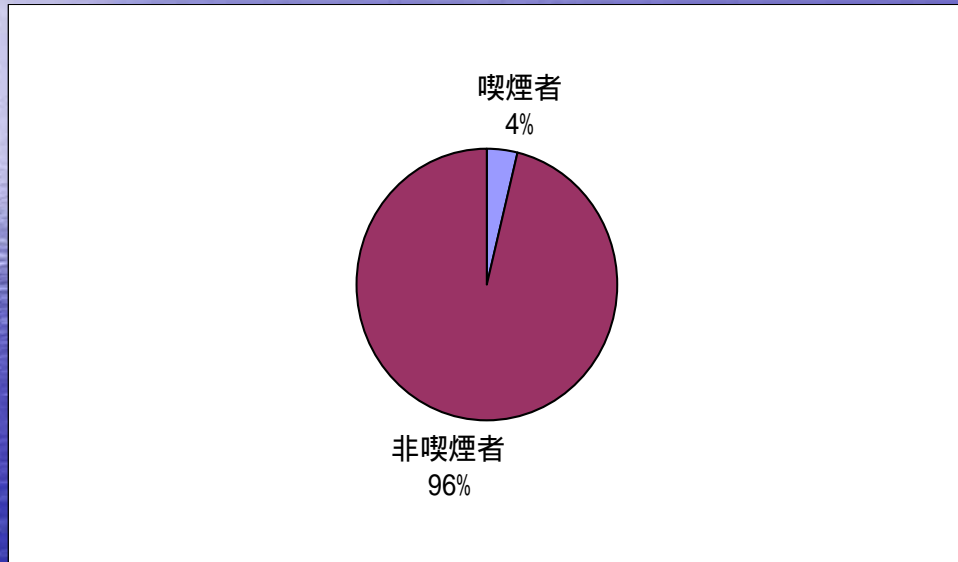
全体の喫煙率です。
喫煙率は25%でした。
次は性別です。

男性の喫煙率



男性は32%でした。

女性の喫煙率

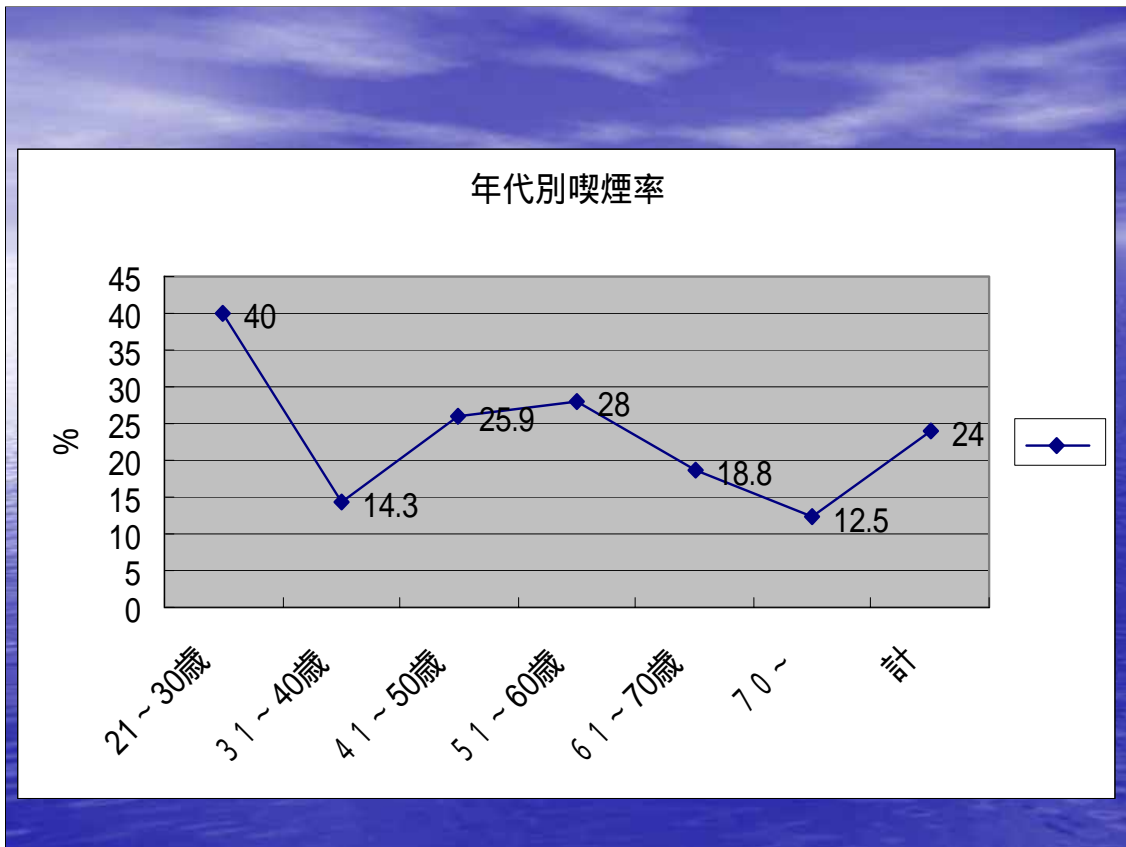


女性は4%でした。

喫煙者の喫煙動態

- 平均喫煙本数: 19.8本
- 平均喫煙年数: 28.0年

喫煙動態は、平均喫煙本数19.8本、平均喫煙年数28.0年でした。



年代別喫煙率の推移です。

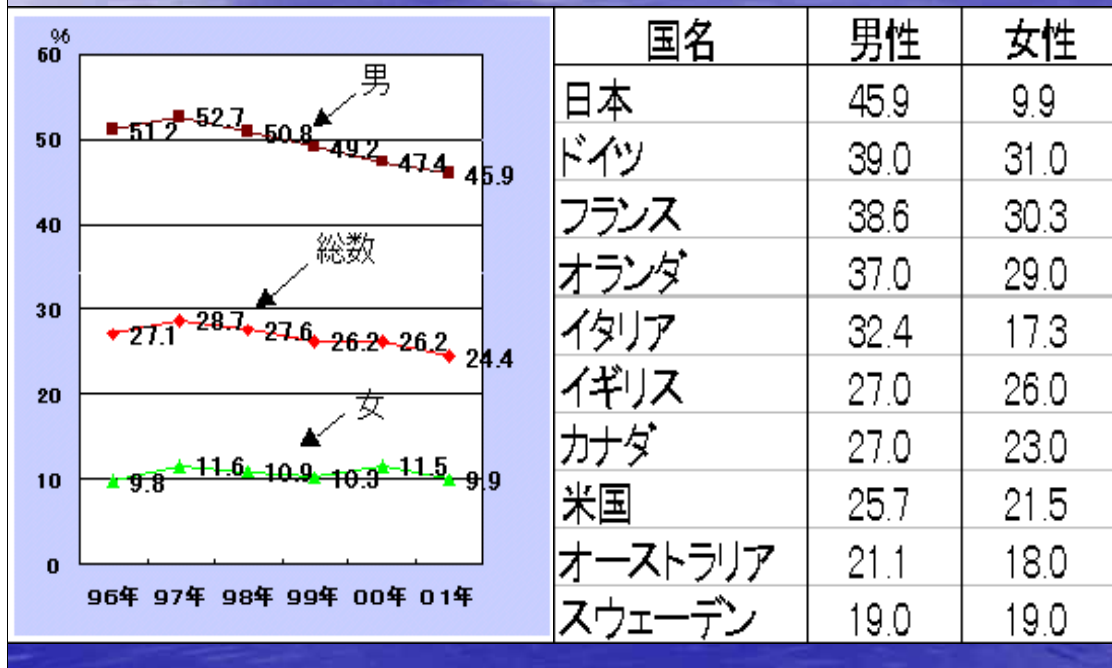
やはり20代が最も高く、年齢とともに低下が認められます。

喫煙者が喫煙を続ける理由

- a) 禁煙したいが禁煙できない 11例
- f) 心が落ち着く 11例
- b) 仕事でイライラするので、またはストレスがあるから 9例
- c) 仕事がかどったり、アイデアが生まれるから 6例
- d) 集中力が生まれるから 3例

主な喫煙を続ける理由を示します。禁煙したいが禁煙できない、心が落ち着く、が11例と最も多く、ストレスがあるからが9例とこれに続きます。これは、他の喫煙調査とほぼ同じ傾向と思われます。

全国および諸外国との比較



国名	男性	女性
日本	45.9	9.9
ドイツ	39.0	31.0
フランス	38.6	30.3
オランダ	37.0	29.0
イタリア	32.4	17.3
イギリス	27.0	26.0
カナダ	27.0	23.0
米国	25.7	21.5
オーストラリア	21.1	18.0
スウェーデン	19.0	19.0

これは厚生省発表のデータですが、今回の調査結果をこのデータと比較してみると、全体では、25%とほぼ全国平均と同じ成績でした。男性は、32%と、全国平均よりやや低い結果でしたが、オーストラリアやアメリカと比べるとまだまだ高い喫煙率でした。

まとめ

- 全体としては、25%と全国平均とほぼ同等であった。
- 男性の32%は全国平均の45.9%に比べやや低かった。このことは、スポーツに関わる人は一般人よりもやや、健康に関する意識が高いことを示しているのかもしれない。
- しかしこの32%はオーストラリア、アメリカ、ヨーロッパ等諸外国の男性に比べると、はるかに高く、喫煙の運動能力への悪影響や、彼ら自身がスポーツ指導者であることを考えると、今後、彼ら自らが禁煙し、禁煙指導を率先して行う必要があると考えられる。

まとめです。

全体としては、25%と全国平均とほぼ同等であった。

男性の32%は全国平均の45.9%に比べやや低かった。このことは、スポーツに関わる人は一般人よりもやや、健康に関する意識が高いことを示しているのかもしれない。

しかしこの32%はオーストラリア、アメリカ、ヨーロッパ等諸外国の男性に比べると、はるかに高く、喫煙の運動能力への悪影響や、彼ら自身がスポーツ指導者であることを考えると、今後、彼ら自らが禁煙し、禁煙指導を率先して行う必要があると考えられる。